



会報

シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

# おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



## 八幡平「大 沼」

6月～7月の大沼は、満々と水を湛え、ツツジやワタスゲ、コバイケイソウなど色とりどりの花が見られます。1周約40分、木道が整備されています。

写真提供「シルバー山の会」

## 平成二十五年度 定時総会会長挨拶



会長  
佐藤 利吉

定時総会の開催に当たり、ご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、様々なお仕事に積極的に取り組まれ、自分とシルバーのための頑張りに敬意を表します。

さて、昨年四月より「公益社団法人」に移行し新たなスタートを切りました。公益事業だけの運営で、地域より一層の信用が増すことを願い、普及啓発や、就業機会の提供に努めて参りました。

昨年度特に留意したことは、適正就業の取り組みです。労働局の調査で、偽装請負などの事実が発覚すると、職安法違反などに問われ、業務停止の可能性が有ります。

当センターでは、労働局の指導順守の観点から、企業との取引について就業形態の洗い直しを行いました。特に車の運転業務は、請負に馴染まないので労働者派遣事業にしなければなりません。

年以上経過しているので、手数料の入らない直接雇用に切り替えました。また、農協関係、一部企業も労働者派遣や直接雇用で切り替えた結果、二十四年度の契約高が約三千七百万円の大幅な落ち込みとなりました。

また、公共事業は、自治体の厳しい財政事情から、減少に歯止めがかからず、民間企業や一般家庭においても、景気の低迷などから伸びが見られません。

会員の不足も大きな問題です。多い時は七六〇名おった会員が、二十五年三月末現在、六二〇名に減少しました。

会員が不足しますと、依頼が集まる農繁期に依頼に応ずることが出来なくなり、信用を失墜する恐れがあります。

二十五年年度に入り入会者数が幾分増える傾向を見せており、今後を期待しております。入会者を増やすことは今年度の急務で、新規会員の入会促進に、今まで以上に「ひとりが一入会させる運動」に取り組む必要が有ります。

二十五年年度の国内情勢は、安部政権に変わってからの、アベノミクスと言う現象が起き、円高が是正され円安に移行。株式市場で低迷していた株価が、急激に上昇。輸出

関連企業は、製品を安く売ることが出来、大幅な黒字を計上し、儲けはとどまるところを知りません。こうした活況が大館まで来るようになれば、私達シルバーも一息つけるのですが、当分不況から抜けることは考えられず、厳しい運営を迫られる事になります。

法を順守した適正就業、事故を起こさない安全な就業、作品展覧会・一泊慰安旅行などの自主的な親善活動など、全員一致協力して取り組んで参りたいと思います。

私達は働く高齢者です。それぞれの地域で様々な仕事を受注して、丁寧・親切をモットーに、仕事に励んでおります。地域に結びついた活動を通して、地域の高齢者や一人暮らしの方と接する機会が多い訳です。地域住民・特に高齢者が困っている時には、真つ先に手を差し伸べ、相談に応ずる会員でありたいと思います。

そのためには健康に留意し、健康保持のために運動や仕事に励んでください。たった一度よりない人生です。この人生を輝いて生きようじゃありませんか。皆様のご健勝を祈念して挨拶を終わります。

## 総会・交流会

去る五月二十八日、ホテルクラウンパレス秋北を会場にして、「平成二十五年度定時総会」が開催されました。

吉田光明副市長はじめ、金澤勲公共職業安定所長及び佐藤賢一郎、虻川信一両県議会議員並びに佐藤久勝市議会教育産業常任委員長から、激励の言葉を賜りました。

公益法人移行により総会の運営が少し変わりましたが、総会員数五百九十六人中、四百十五人の出席（うち、委任状出席者百五十七人、書面議決書提出者百十三人）のもと、監事の報告に続いて平成



二十五年度事業計画と収支予算が報告された後、平成二十四年度事業報告と収支決算報告の承認、並びに定款の一部変更や任期満了に伴う役員改選等が審議され、提案のとおり議決されました。

この度の定款変更により、平成二十六年から有料職業紹介事業の実施が可能となり、総会も六月にずらして開催できるようにになりました。

また、役員改選により新しい執行体制となったことから、緊急理事会を開催して互選した結果、会長（代表理事）に佐藤利吉が、副会長に菅原明裕が、常務理事（業務執行理事）には事務局長の安達公正が再任されました。

十班班長の本間鉄郎さんが議長を務め、不慣れと謙遜しつつ、報告事項はじめ五件の議案審議についても順調に進められ、お陰様で盛会裏に終了できました。

そして総会終了後には、恒例の親睦交流会が開催されました。

田代・比内事務所の廃止など、苦難の多かった一年を振り返りつつ、会員同士お酒を酌み交わし、近況を語り合い、歌って踊って楽しい交流会となりました。

### 平成二十五年度事業計画

- 一、普及啓発の取組み
- 一、会員拡大及び就業機会拡大等の機能強化事業の推進
- 一、安全・適正就業への取組み
- 一、無料職業紹介事業の実施とシルバー派遣事業の推進
- 一、ボランティア活動の推進
- 一、シニアワークプログラム地域事業の支援

### 事業目標

- ① 会員数 ↓ 650人
- ② 就業延数 ↓ 5万8千人日
- ③ 契約高 ↓ 219,000千円
- ④ 就業率 ↓ 85%以上

### 平成二十四年度事業報告

- ① 会員数 ↓ 626人 (目標700人)
  - うち、男468人、女158人
  - 大館地区 ↓ 468人
  - 田代地区 ↓ 81人
  - 比内地区 ↓ 77人
- ② 就業延数 ↓ 46,816人日 (目標6万千人日)
- ③ 契約高 ↓ 212,337千円 (目標236,700千円)
- ④ 就業率 ↓ 79.7% (目標90%以上)

### 新役員体制

代表理事	佐藤利吉
会長	菅原明裕
副会長	菅原明裕
業務執行理事	安達公正
業務理事	鈴木実明
理事	櫻庭晋一
理事	伊藤アヤ子
理事	畠山壽子
理事	寺田晃美
理事	三浦剛
理事	三上文弘(新)
理事	安田鉄介(新)
監事	中嶋正三
監事	小林則子
監事	田中瑞穂(新)

### 退任された役員

先般五月二十八日の定時総会終結の時をもって、次の方々役員を退任されました。(敬称省略)

渡部壽男(理事 五期十年)  
 工藤亮治(理事 五期九年)  
 阿部秀雄(監事 一期二年)

当センター発展にご尽力ください心から御礼申し上げます。引き続きご指導とご協力の程、宜しくお願いいたします。

### 新任役員紹介

五月の総会で選任された新任の役員を紹介します。

①前職 ②趣味や特技 ③抱負 などについて伺いました。



七班 理事  
三上 文弘

- ① 民間企業OB (秋田協乳三十年など民間で四十三年、施設設備管理)
- ② 野球、最近はスポーツ観戦と山

菜採り等

③私の若い頃の上司は、「口を動かす暇があったら手を動かせ」が口癖で、お陰で今もって口下手で、どちらかというとな口な方かもしれません。

この齢になり、現職の頃は少々鼻っ柱が強かったな、と言う反省もあり、退いたら「人は皆同じ」の気持ちでシルバー会員として今日までお世話になつていきます。

私の四十代からの好きな言葉は「洒落落」です。皆さん分かりますか？今後ともご指導お願い申し上げます。



十四班 理事  
安田 錠介

①公立小中学校教員

公益社団法人秋田県SJC連合会臨時職員

②花卉栽培、水泳、バイクツーリング

③SJC連合会の「高齢者就業支援事業」に携わって、高齢者就

業の厳しい現状を知りました。

元気で、働く意欲のある高齢者が、地域貢献と生きがい作りを目的としながら就業できるシルバー人材センターの存在は貴重です。

微力ながら役に立てればと思っています。



十三班 監事  
田中 瑞穂

①(株)NTT東日本秋田

②囲碁、山菜やキノコ採り

③センターは、昨年度から公益法人として新しくスタートをきりました。自分も会員の一人として、少しでも何かお役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。シルバーに入り皆様にお世話になって十一年、これからもよろしくお願いいたします。



### 私の趣味「薔薇と菊」

塗装班 木村 保夫

六十才近くになると、退職したら何か趣味を持たなければ「ボケ」てしまわないかと前から考えていました。知り合いから、大館バラ会に入つてバラをやってみないかと声がかかり、前からやっていた菊花の他にバラにも手を出すことになりました。

あれから八年、バラ会のコンテストには何度も挑戦しましたが、なかなか入賞には手が届かずあきらめかけていたところ、今回は運よくコンテストに合わせたかのように見事にバラが咲き、それが三部門で一位となり、自分でも驚いています。

周りからバラの手入れは難しいとよく言われますが、基本を忠実に守っていれば、期待にこたえて綺麗な花を咲かせてくれます。また、バラ独特の香りは品種によつてさまざまですが、香り漂うバラの傍に立っていると心まで豊かな気分になります。

一方、菊ほど多くの人々に愛されてきた花はないと言ってもいい



薔薇コンテストで賞を貰いました

でしょう。豊麗で雄大に盛り上がり咲く花、繊細で優雅な花など、その魅力は一言で語り尽くせるものではありません。

主に大輪系の三本仕立てを作っています。五月初めに挿し芽をし、生育にしたがつて小鉢、中鉢、大鉢と入れ替えて十月に咲き始めます。そして、十月下旬の大館圏域産業祭に合わせて、大館菊花同好会の主催でコンテストをやります。入賞した時は大変うれしいです。シルバーの会員作品展にも出品して喜ばれています。

バラは、冬の雪囲い、春の剪定など必要ですが、地植えなので育てやすいと思います。それに比べ菊の鉢は十キ口前後もあり、年を重ねるにつれ足腰が弱くなり、大風の吹くときなど出し入れに苦労します。もちろん、バラも菊も肥料や薬剤散布は必要です。

趣味の園芸をはじめ仲間と出会い、花を咲かせて七十才になり楽しい人生を過ごしています。

**除草班の仲間に支えられて**



除草班班長  
高谷 洋子

シルバーに入会して六年になりました。はじめは、家事手伝いや施設の調理手伝い等をしていましたが、除草班の方の元気に働く姿が楽しそうだったので、除草班に入れてもらいました。

仲間に加えてもらって初めて話しかけられた時は、とてもうれしかったです。仕事の手順も教えてもらい、優しく支えていただいております。また、仕事を終えた後

の、お客様からの「ありがとう」「ご苦労様」の一言が、とてもうれしくて励みになっています。

体調を崩し歩くのも辛かった時には、みんなが心配して励ましてくれました。仲間って良いな、と心から思いました。

除草班では、毎年春と秋の二回センターの除草奉仕をしています。また、シーズン終了の秋には、温泉に行つて「お楽しみ会」も行っています。みんな喜んで参加してくれます。

山の会にも仲間入りし、頂上での昼食など楽しい思い出がいっぱいです。体につけてシルバーで会いましょう。



除草班の皆様、熱中症に気を付けてね

**会員になりました**



八班  
佐藤 金雄

今年の四月からシルバーの会員になりました。団塊の世代の佐藤です。つい三月まで郵便関係の仕事に従事し、四十五年間外勤一筋に仲間の協力のもと、どうにか勤め上げる事ができました。

現職の頃に何か特技を身につけたいと大型免許を取得したり、様々な訓練や通信講座など受講したものです。

今迄時間に追われながらの仕事でしたので、少しゆとりのある仕事の方がいいなと、日頃から思っていました。それで、高齢者でもあるし地域貢献的な仕事をしているシルバー人材センターに入会しました。

現在は野球場の管理人として早三ヶ月になりました。今一番気をつけている事は、やはり高齢者は無事故で帰宅が何よりと言うことです。私はスリーチエックポイントとして、体調管理をしつかりす

る事、次に草刈り機その他道具を使用する際は点検を怠らない事、そして二人以上での仕事の場合は安全第一に状況を把握し声掛けをする事、この三点を厳守すればまず事故は防げるものと思います。そして、「仲間と仲良く就業する事」は本人のためでもあり、お客さん・センターにとつても大変喜ばしい事と言えます。

学童野球の試合がある時は、朝六時のグラウンド使用となります。遅くとも三〇分以上前に球場を開けなければならぬ事も度々ありますが、子供達の一生懸命な姿を見ると「しょうがないか」と思いつつ頑張っています。

シルバー事業は高齢者の新しい就業システムとして着実に地域に浸透していると思えますが、働く意欲のある高齢者はまだまだいると思います。

事業の趣旨でもある、仕事を通じて人と出会い自分の人生を日々充実したものにして行こうという気持ちと、地域のため必要とされているから頑張れるという発想のもと、微力ながら会員の拡大と生き生きと明るい職場造りに少しでも役立ちたいと思っています。

### 「農業補助員講習」を受講して



七班  
山本 久志

七月中旬の八日間、「農業補助員講習」を受講しました。本年四月シルバー入会、初仕事は田植え補助作業、そして今回の講習。

内容は、トマト・キュウリ・アスパラの実習でした。三種類に共通した作業は、適葉と草取りです。専用のハサミを使うのですが、トマトの芽かきはハサミを使うとウイルスを伝染させる恐れがあるので、手でかき取ることを教わりました。トマトは家庭菜園では四〜五段が通常ですが、プロは十三段又はそれ以上の収穫とのことでした。草取りも病害虫を防ぐ大切な管理作業であることを認識しました。

又、土作りは、おいしくて病害虫に強い野菜を育てる第一条件であり、団粒構造の土が最適であることを知りました。更には、畝は風当たりや日照の関係で南北に作ること、土の酸度、肥料、農薬、マ

ルチング、連作障害等、栽培管理のノウハウを知り得たことは大きな収穫でした。

七十才にして知った神秘の世界農業。労苦、奥行き長さ、よろこび、不断の研鑽の必須などを垣間見たことは「収穫」以上のものがありました。

為せば成る(やればできる) 成せば為る(達成が新たな意欲を生む)、これが本講習の成果実感です。受講生十人(内、女性三人)終始和気藹藹とても楽しい講習でした。

本講習を企画して下さいました連合会、日に三度現場にお運び頂いたシルバー大館の佐藤さん(業務錯綜してたでしように)、JAあきた北の講師の皆様、まことにありがとうございました。力をいただき、力が更に湧いてまいりました。シルバー人材センターの益々のご発揚を祈念申し上げます。合掌



### 厳しい残暑

#### 「熱中症」に注意!

○熱中症で毎年多くの人が命を落としていきます。

少しでも気分が悪くなったら直ちに仕事をやめ、応急手当てをして病院へ行ってください。

○熱中症の応急手当

- ・ 涼しい場所に避難する。
- ・ 衣服を脱いで身体を冷やす。
- ・ 水分、塩分を補給する。(スポーツドリンクが効果的)

※水が飲めなかつたり反応が鈍かつたりした場合は、すぐに救急車を要請する。

○熱中症の予防

- ・ 頭や肌を直射日光に晒さない。
- ・ 発汗で失った水分と塩分をこまめに補給する。
- ・ 時折、自分の体調を観察する。
- ・ 睡眠を十分とる。

### 安全就業「努力賞」を受賞!

・ 七月十二日に開催された、秋田県SC連合会主催の「安全就業推進大会」において、当センターが「努力賞」を受賞しました。昨年の傷害事故が一件の発生に

止まったことが評価されました。

### 安全標語

平成二十五年度「秋田県シルバー人材センター連合会安全標語受賞作品」紹介(敬称略)

※なお、当センター会員の鈴木輝裕さんが「優秀賞」を受賞しました。  
最優秀賞

「安全は「焦らず」「省かず」  
「気を抜かず」

優秀賞  
「フライド捨てる  
指示に従う 柔軟さ」

優秀賞  
「ちよつと待て  
急ぐ時こそひと呼吸

優秀賞  
「ゆどりの作業で事故防止」

(公社) 大館市SC 鈴木輝裕

(公社) 男鹿市SC 夏井邦夫

### 庭木班と除草班の奉仕

○庭木班がセンター前庭樹木の剪定を、除草班がセンター周辺の草取りをして下さいました。

○ありがとうございます。お蔭様で綺麗になりました。

シルバー人材センター  
支援要請活動



七月十七日、佐藤会長と菅原副会長及び事務局長の三人で市長室を訪問。小畑元市長と面会し、運営費補助金の確保と仕事の発注等が柱の、全国シルバー人材センター事業協会定時総会決議に係る要望書を手渡すことができました。  
その際、飯泉産業部長も同席され、小畑市長から、シルバーの活用方はじめ、暖かい支援のお言葉を賜りました。

新会員紹介

(敬称略)

中田春義	菅原和則	木村テイ子	成田憲一	高橋春枝	畠山義雄	梅沢博	山本久志	菅原健太郎	佐藤金雄	佐藤俊夫	笹谷鉄夫	佐藤隆悦	齋藤敏樹	秋庭敏樹	多胡正雄	千葉律子	笹木由美子	長谷山徹	椿谷義治	齋藤一彦	越後雅美	佐藤公美	長田愛子	石谷亮子	羽沢優子	遠藤勝	尾山むつ子	和賀静雄		
一	二	三	三	三	三	七	八	八	八	八	八	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班

菅原増男	菅原勇	秋元久男	阿部澄雄	高橋アツ子	福嶋みつ子	花田良一	工藤治	佐藤武敏	花田悦実	佐藤弘己	細田正夫	工藤正蔵	工藤敏行	黒沢綱五郎	安藤和子	尾山けい子	奈良田秀雄	本間孝一
十六	十八	十八	十八	十九	十九	十九	十九	十九	十九	十九	二十	二十	二十一	二十二	二十二	二十二	二十二	二十三
班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班

以上、平成二十五年一月十六日から七月二十六日までに、四十七名の方が仲間入りしました。

訃報

15班 谷地田巳千直殿(75歳)  
6班 萩野孝一殿(72歳)  
18班 鈴木勝一殿(75歳)  
ご冥福をお祈りいたします

お知らせ

次回以降の配分金支払日

七月分↓九月二日  
八月分↓九月三十日  
九月份↓十月三十一日  
十月分↓十二月二日  
十一月分↓十二月三十日  
十二月份↓一月三十一日  
就業報告書は、早めの提出をお願いいたします。

事務所夏季休業のお知らせ

八月十三日(火)～八月十五日(木)  
この期間事務所が休業となります。緊急時の連絡先は、総会資料を御覧下さい。

会員作品展の日程と会場決定

期 日 十月十九日・二十日  
会 場 大館市立中央公民館  
出展希望の方は、事務局へ連絡してください。  
友人知人ご近所、お誘い合わせの上ご来場ください。

### 一泊旅行のお知らせ

- ・行 先Ⅱ北海道「函館市」
- ※五稜郭・函館山夜景など
- ・出発日Ⅱ十一月十四日(一泊)
- ・宿泊先Ⅱ湯の川温泉

平成館「海羊亭」

- ・参加費Ⅱ一人三万円
- ・募集人数Ⅱ四十人

・申込み期限Ⅱ十月一日までに事務局へお申し込みください。

※詳しくは、別添の「一泊旅行のご案内」をご覧ください。

### SP技能講習の予定(無料)

○フォークリフト運転技能講習

- ・期日Ⅱ九月十八日(水)～九月二十七日(金)七日間

・定員Ⅱ二十名

・会場Ⅱ秋田県トラック協会県北

研修センター(櫃崎)

※学科及び実技により、フォークリフト運転技能者としての就職就業を目指します。フォークリフト運転技能講習修了証を交付。

○パソコン実務講習(中級)

- ・期日Ⅱ十一月十一日(月)～十一月二十日(水)八日間

・定員Ⅱ二十名

・会場Ⅱ東光コンピュータサービス(株)

※文書作成や表計算、チラシ等の作成、インターネットなどの基礎から応用(中級程度)までの実務的な知識を習得し、事務系や販売・営業系職種への就職就業を目指します。

### 会員拡大に「協力」を!

・理事会「事業部会」で協議した結果、会員の皆様に一人三枚ずつリーフレットを配っていたことになりました。

友人・知人に渡していただき、会員獲得・拡大に向けてご協力をお願いいたします。

・毎月第二・第四水曜日に入会説明会を開催しています。  
会場Ⅱセンター研修棟  
時間Ⅱ午前九時開始

### 「ゴルフ愛好会」発足

ゴルフの好きな人、集まれ!

健康維持・リフレッシュ・親睦交流を兼ねて「ゴルフに行きませんか?」  
連絡お待ちしております。

◇連絡先Ⅱ会員「木村明夫」

☎五四一・二七四一  
または「センター事務局」  
☎四九一・四〇八八

### 一斉奉仕作業の御礼

去る七月六日(十二所地区は十三日)に実施された、「第三十三回一斉奉仕作業」では、悪天候にもかかわらず大勢の参加を頂き感謝申し上げます。

お陰様で、地域に貢献するシルバー人材センター事業を、市民各層に向けて大いにアピールすることができました。



### 編集後記

梅雨も明けよいよ本格的な夏がやってきました。会員の皆様には増々ご健勝のこととお喜び申し上げます。短い夏ではありませんが、大館の夏はお盆過ぎまで都会並みの猛暑となります。シルバー作業は何と言っても体力勝負です。水分など補給され熱中症などにならないよう健康維持に努めましょう。

さて、近年シルバー会員の減少が目立っています。十年前より百八十九名減少しており、誠に深刻な事態となっているのです。原因は六十五歳までの定年延長など、色々な社会的要因があると思いますが、少子高齢化が進む中で、年々会員が減少するなど不可解な現象が起きているのです。

新会員の入会動機をみると、「友人・知人に誘われて」が最も多くなっています。従って、今年には会員獲得やシルバー事業の宣伝のため、全会員で近隣の友人・知人へチラシを配布して頂くことにいたしました。皆で力を合わせ会員獲得や事業の発展に努めましょう。

第六十五号会報発行にあたり、多くの皆様より寄稿いただきました。ありがとうございました。広報部より心から感謝申し上げます。

三浦、伊藤、鈴木、畠山、安田